

令和2年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和元年10月11日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
 コード番号 7608 URL <https://www.sk-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 石井 正則 TEL 03-6660-5005
 四半期報告書提出予定日 令和元年10月11日 配当支払開始予定日 令和元年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年2月期第2四半期の連結業績（平成31年3月1日～令和元年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年2月期第2四半期	3,308	△1.9	305	△31.5	302	△32.5	317	△21.3
31年2月期第2四半期	3,372	38.0	446	212.0	448	209.5	403	163.2

(注) 包括利益 2年2月期第2四半期 316百万円 (△22.8%) 31年2月期第2四半期 410百万円 (183.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年2月期第2四半期	38.00	—
31年2月期第2四半期	48.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年2月期第2四半期	3,731	3,120	83.6	373.54
31年2月期	3,454	2,837	82.1	339.65

(参考) 自己資本 2年2月期第2四半期 3,120百万円 31年2月期 2,837百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値としております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年2月期	—	3.00	—	4.00	7.00
2年2月期	—	4.00	—	—	—
2年2月期（予想）	—	—	—	6.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

令和2年2月期期末配当金の内訳 普通配当4円 30周年記念配当2円

3. 令和2年2月期の連結業績予想（平成31年3月1日～令和2年2月29日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	△9.6	400	△49.2	400	△49.5	395	△42.8	47.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（令和元年10月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年2月期2Q	8,490,103株	31年2月期	8,490,103株
② 期末自己株式数	2年2月期2Q	135,186株	31年2月期	135,186株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年2月期2Q	8,354,917株	31年2月期2Q	8,355,018株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな景気回復基調が続いている一方で、米中貿易摩擦の激化や今秋の消費税率引上げによる消費活動への影響が懸念されるなど、依然として先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

このような中、当社グループは前年同期の実績を下回るものの、売上高は、3,308百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は305百万円（前年同期比31.5%減）、経常利益は302百万円（前年同期比32.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は税効果会計における繰延税金資産の計上の見直しもあって317百万円（前年同期比21.3%減）と利益面で当初の業績予想を上回る結果となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業におきましては、「星のカービィ」「ドラえもん」「シャクレルプラネット」「忠犬もちしば」等の定番キャラクターは堅調に推移しておりますが、商品構成の変化による利益率低下などを受けた結果、売上高2,271百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益268百万円（前年同期比29.3%減）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業におきましては、一部の定番キャラクター商品がやや苦戦しましたが、引き続き「ポケットモンスター」「星のカービィ」「ドラゴンクエスト」といったゲーム関連キャラクター商品とオリジナル商品である「もちもちマスコット」シリーズやバスボール（フィギュア入り入浴剤）が好調であったことから、売上高1,036百万円（前年同期比6.5%増）営業利益37百万円（前年同期比43.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて277百万円増加し、3,731百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少額202百万円により一部相殺されたものの、受取手形及び売掛金の増加額346百万円、繰延税金資産の増加額62百万円、流動資産のその他の増加額50百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて5百万円減少し、610百万円となりました。これは主に、買掛金の増加額103百万円により一部相殺されたものの、流動負債のその他の減少額69百万円、未払法人税等の減少額48百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて283百万円増加し、3,120百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額284百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて202百万円減少し、1,897百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、96百万円（前年同期は122百万円の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益302百万円、仕入債務の増加額105百万円により一部相殺されたものの、売上債権の増加額308百万円、営業活動によるその他の支払額96百万円（うち未払金の減少額57百万円）、法人税等の支払額95百万円があったこと等を反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、68百万円（前年同期は18百万円の使用）となりました。

これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出65百万円があったこと等を反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、33百万円（前年同期は25百万円の使用）となりました。

これは主に、配当金の支払額33百万円があったこと等を反映したものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成31年4月12日に公表いたしました令和2年2月期（通期）の連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（令和元年10月11日）公表の「業想予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,099,365	1,897,129
受取手形及び売掛金	669,667	1,015,726
電子記録債権	225,955	187,665
商品	201,764	215,947
その他	69,653	120,176
貸倒引当金	△207	△278
流動資産合計	3,266,199	3,436,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△9,579	△11,937
建物及び構築物（純額）	5,117	2,759
車両運搬具	1,119	—
減価償却累計額	△934	—
車両運搬具（純額）	184	—
建設仮勘定	7,418	—
その他	111,297	146,256
減価償却累計額	△98,992	△110,920
その他（純額）	12,305	35,335
有形固定資産合計	25,025	38,095
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	44,053	49,182
退職給付に係る資産	45,901	40,619
繰延税金資産	47,719	110,649
その他	26,245	25,806
貸倒引当金	△12,668	△12,668
投資その他の資産合計	151,252	213,589
固定資産合計	188,170	295,440
資産合計	3,454,369	3,731,808

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,702	340,393
未払法人税等	106,790	57,839
賞与引当金	19,600	28,875
その他	208,920	139,252
流動負債合計	572,013	566,360
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	—	412
その他	44,641	44,158
固定負債合計	44,641	44,571
負債合計	616,655	610,931
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	492,935	492,935
利益剰余金	1,922,816	2,206,882
自己株式	△51,678	△51,678
株主資本合計	2,826,070	3,110,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,863	16,682
繰延ヘッジ損益	495	△2,731
為替換算調整勘定	△2,715	△3,210
その他の包括利益累計額合計	11,643	10,740
純資産合計	2,837,714	3,120,876
負債純資産合計	3,454,369	3,731,808

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年8月31日)
売上高	3,372,206	3,308,795
売上原価	2,243,925	2,224,177
売上総利益	1,128,280	1,084,618
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	187,144	216,980
賞与引当金繰入額	26,950	28,875
退職給付費用	5,198	15,923
執行役員退職慰労引当金繰入額	—	412
荷造運搬費	173,911	176,417
貸倒引当金繰入額	771	70
その他	288,181	340,235
販売費及び一般管理費合計	682,158	778,915
営業利益	446,122	305,702
営業外収益		
受取利息	25	53
受取配当金	381	419
為替差益	1,901	—
賃貸収入	422	527
その他	126	89
営業外収益合計	2,857	1,090
営業外費用		
為替差損	—	3,934
その他	1	4
営業外費用合計	1	3,939
経常利益	448,978	302,853
特別損失		
固定資産売却損	162	127
特別損失合計	162	127
税金等調整前四半期純利益	448,815	302,725
法人税、住民税及び事業税	62,499	47,938
法人税等調整額	△17,029	△62,698
法人税等合計	45,470	△14,759
四半期純利益	403,345	317,485
親会社株主に帰属する四半期純利益	403,345	317,485

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年3月1日 至 令和元年8月31日)
四半期純利益	403,345	317,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,479	2,818
繰延ヘッジ損益	8,862	△3,227
為替換算調整勘定	△387	△494
その他の包括利益合計	6,994	△903
四半期包括利益	410,340	316,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	410,340	316,582
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年3月1日 至 令和元年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	448,815	302,725
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,770	9,275
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	412
貸倒引当金の増減額(△は減少)	771	70
受取利息及び受取配当金	△406	△473
固定資産売却損益(△は益)	162	127
売上債権の増減額(△は増加)	△334,056	△308,862
たな卸資産の増減額(△は増加)	△122,589	△14,219
仕入債務の増減額(△は減少)	134,203	105,591
その他	20,062	△96,522
小計	158,733	△1,875
利息及び配当金の受取額	406	473
法人税等の支払額	△36,554	△95,342
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,585	△96,744
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却による収入	90	18
有形固定資産の取得による支出	△12,712	△29,290
無形固定資産の取得による支出	△5,087	△36,696
差入保証金の回収による収入	—	75
差入保証金の差入による支出	—	△1,075
その他	△1,078	△1,120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,788	△68,089
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△53	—
配当金の支払額	△24,954	△33,213
その他	△483	△483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△25,491	△33,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,251	△3,704
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	80,557	△202,236
現金及び現金同等物の期首残高	1,510,898	2,099,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,591,455	1,897,129

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法
によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期
連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定
負債の区分に表示しております。

（執行役員退職慰労引当金）

執行役員退職慰労金制度導入に伴い、将来の支出に備えるため、当第1四半期連結会計期間より内規に基づく
四半期連結会計期間末要支給額を執行役員退職慰労引当金として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,398,865	973,340	3,372,206	—	3,372,206
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,148	103	2,251	(2,251)	—
計	2,401,013	973,444	3,374,458	(2,251)	3,372,206
セグメント利益	379,191	66,931	446,122	—	446,122

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成31年3月1日 至 令和元年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,271,803	1,036,992	3,308,795	—	3,308,795
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	153	153	(153)	—
計	2,271,803	1,037,145	3,308,948	(153)	3,308,795
セグメント利益	268,084	37,618	305,702	—	305,702

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。